

市民協働都市宣言

歴史と文化、豊かな自然にはぐくまれ、都市としての魅力や活力にあふれる、わたしたちのまち府中。

わたしたちは、将来にわたってみんなが笑顔で暮らし、働き、学び、活動できるように、お互いの信頼関係のもとに協力し合い、支え合うまちをつくりまします。

そのために、わたしたちは、まちの主役として自らの役割を考え、できることから積極的にまちづくりに参加します。

そして、わたしたちは、ともに考え、汗を流し、一体となって地域課題の解決に取り組みまします。

わたしたちは、洗練された輝き続けるまちへのさらなる飛躍を誓い、ここに府中市を「市民協働都市」とすることを宣言します。

平成26年10月19日

府中市

府中市の「市民協働」の推進に向けた様々な取組や基本方針についてさらに詳しく知りたい方は市ホームページをご覧ください。
<http://www.city.fuchu.tokyo.jp/kurashi/shiminkyoudou/index.html>

【お問い合わせ】

府中市 市民協働推進本部 市民活動支援課 市民協働推進担当

〒183-8703 東京都府中市宮西町2-24
電話 042-335-4414 (直通)
FAX 042-365-3595
E-mail siminkyodo01@city.fuchu.tokyo.jp
ホームページ <http://www.city.fuchu.tokyo.jp>



このイラストは、近隣小学校のお祭りに参加するなど、地域貢献活動に力を入れている東京都立府中高等学校漫画研究部の協力により、「協働」をイメージして作成いただいたものです。
みどり豊かな府中のまちで、「協働」が進むことによって、やさしさや楽しさを感じられ、まちの幸せがあふれていくことが表現されています。

府中市では協働によるまちづくりを積極的に推進していきます



Q1 協働って？

協働とは、市民の皆さんや、市内で活動している色々な団体、企業や市役所など、異なる立場の人たちが、それぞれの得意なことを生かし、協力して地域の様々な問題を解決することをいいます。

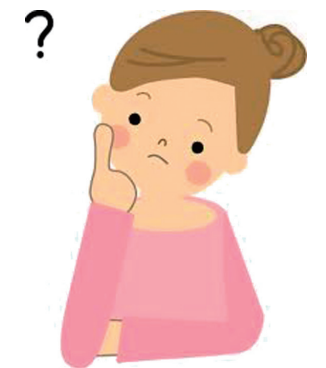
Q2 なぜ協働は必要なの？

地域の課題は複雑化・多様化しているため、そのすべてに市が対応することはできません。市民や自治会・町内会、NPO 法人、教育機関、事業者、市など、まちを構成するすべての人たちが力を合わせて、まちづくりに取り組むことが求められています。

Q3 協働の効果って？

地域の課題を解決するためにみんなで連携・協力し合うことで、自分が住むまちに愛着と誇りを持ち、住みやすい、住んで良かったと思える魅力的なまちをつくることができます。

例えば、府中市では次の事業が「協働」で行われています。



① 市民が主体となり、市が支援している例

けやき音楽祭 JAZZ in FUCHU

(JAZZ in FUCHU 実行委員会、公益社団法人むさし府中青年会議所)

どんなことを行っているの？

JAZZ in FUCHU は、プレイヤーから運営スタッフまで、様々な主体の協力により創り上げるイベントです。文化の振興やまちの賑わいを創出し、「笑顔の府中」のまちづくりに貢献することを目指しています。

実行委員会では、10代から70代まで、また、学生・主婦・社会人など幅広い人たちが参加し、自由に意見交換をしながら、むさし府中商工会議所、自治会連合会、各商店会、各種企業等と連携し、企画・運営を行っています。



効果は？

市民とプレイヤー、そして会場が一つになって盛り上がり、多くの市民に喜んでいただき、「笑顔の府中」のまちづくりにつながっています。また、市内外からも多くの観客を集め、年々規模も拡大するなど、府中の魅力の一つとして成長を続けるイベントになっています。

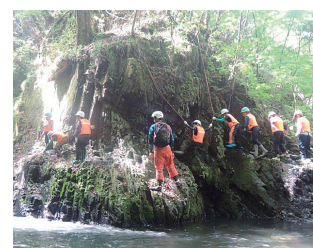
水辺の楽校推進事業

(府中水辺の楽校運営協議会)

どんなことを行っているの？

多摩川の持つ豊かな自然を活用し、川遊びをしたり、生き物や植物などを観察したりしながら、机の上では学べない色々なことを楽しみながら学ぶことを大切にしている楽校です。

子ども時代に多摩川で遊び遊んだ団塊・高齢者世代、自治会、学校教諭や市民団体など、多種多様な人材が集まり、国や多摩川漁業協同組合、府中市郷土の森博物館等と連携した体制を作っています。



効果は？

自然体験が少ない若い親世代も子どもと一緒に、川の危険と安全を遊びながら学習することによって、川に慣れ親しみ、身近な自然の大切さを学ぶ貴重な機会を提供しています。また、小学校が実施する総合的な学習の時間を活用した多摩川での自然環境学習を支援しています。

③ 市が主体となり市民が協力している例

高齢者見守りネットワーク事業

(市民、事業者ほか)

どんなことを行っているの？

「高齢者見守りネットワーク」は、高齢者が住み慣れた地域で安全に、安心して暮らし続けることができるよう、市民や事業者と協力して地域の高齢者をさりげなく見守る仕組みです。

市民や事業者が、日常生活・業務の中で異変を感じる高齢者を発見した場合に、市や地域包括支援センターへ連絡し、必要な支援につなげます。



効果は？

市民、事業者などと連携して見守りを行うことで、支援が必要な高齢者の早期発見や、一人暮らし高齢者の孤立死・孤独死の防止、詐欺などの消費者被害の抑制などにつながっています。